



令和6年6月28日
総合政策局情報政策課

「国土交通月例経済（令和6年6月号）」

国土交通省では、「国土交通月例経済（令和6年6月号）」をとりまとめましたので、お知らせいたします。

また、概況は別紙のとおりです。数値につきましては、国土交通省のウェブサイト（国土交通月例経済）をご覧ください。

「国土交通月例経済」は、建設分野や交通分野の公的統計を始めとし、事業者や関係団体が公表しているデータも引用しつつ、主要な項目をまとめて毎月公表しているものです。

なお、本件につきまして、ご質問やご要望等ございましたら、以下の問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

〔問い合わせ先〕

総合政策局 情報政策課 大井、森谷

TEL : (03) 5253-8111 (内線 : 28401、28425)

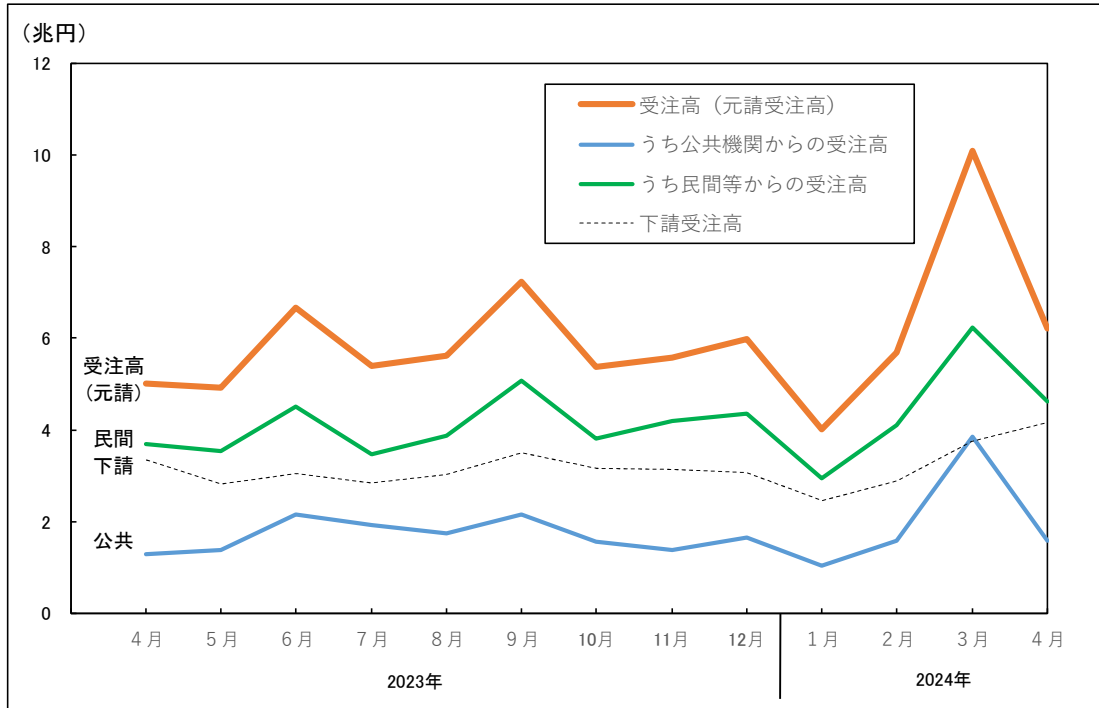
直通 : (03) 5253-8340

国土交通月例経済（令和6年6月号）の概況

I 建設分野

1. 建設工事の受注高

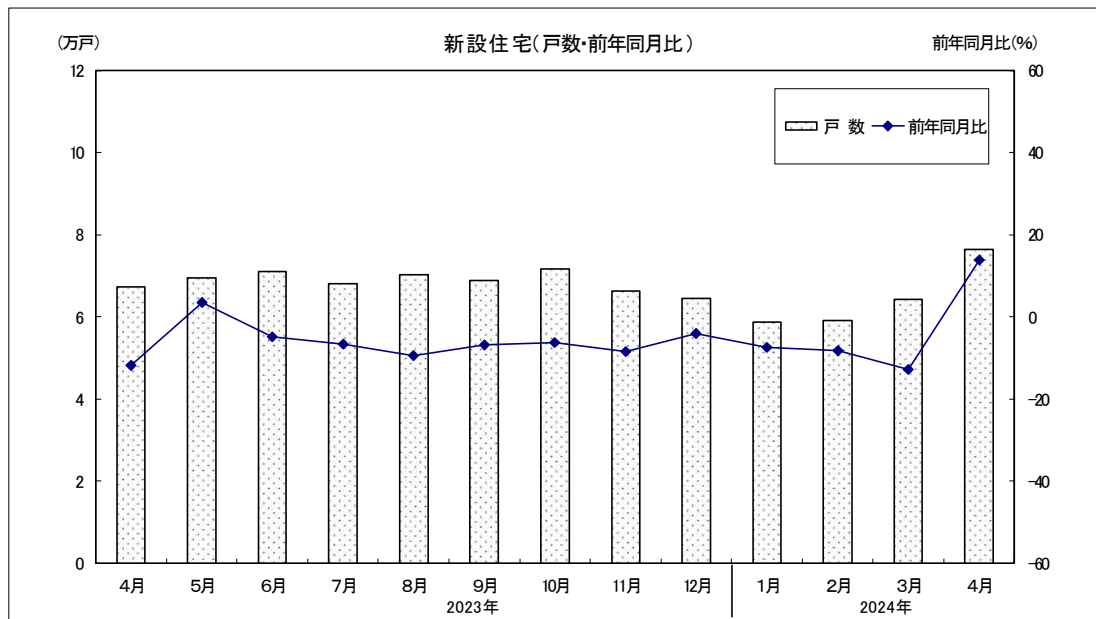
2024年4月の受注高（元請受注高）は6兆2,134億円（前年同月比24.2%増）となった。そのうち、公共機関からの受注高は1兆5,772億円（前年同月比21.4%増）、民間等からの受注高は4兆6,362億円（前年同月比25.2%増）であった。また、下請受注高は4兆1,720億円（前年同月比25.1%増）であった。



出典：政府統計ポータルサイト e-Stat 国土交通省「建設工事受注動態統計 記者発表資料」

2. 住宅着工

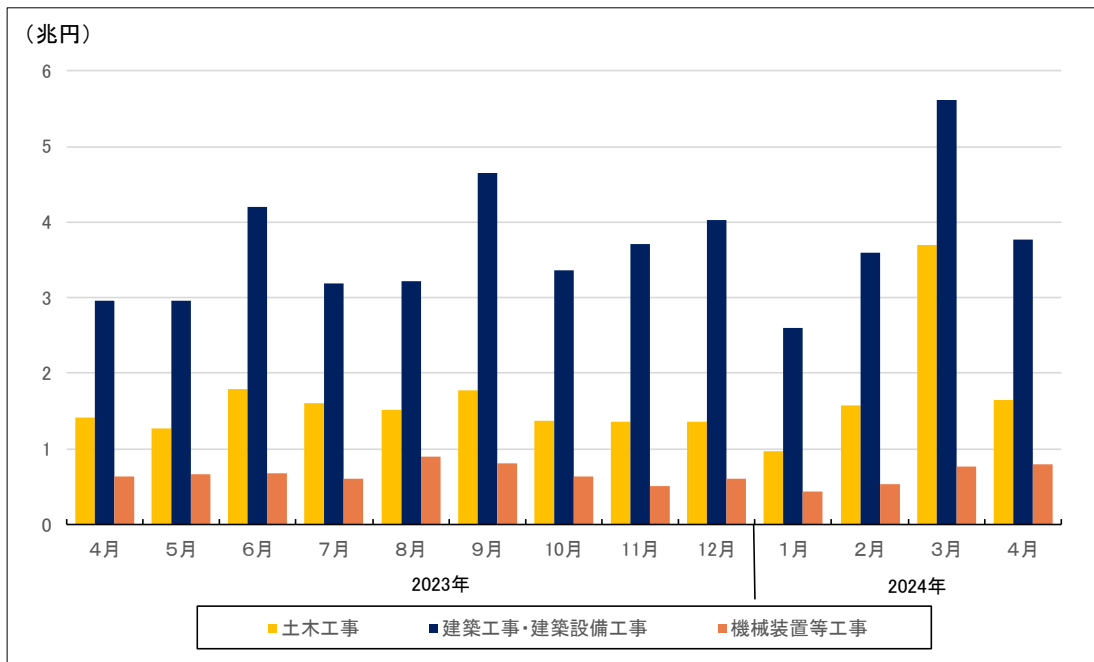
2024年4月の新設住宅着工は76,583戸（前年同月比13.9%増）となった。そのうち、持家は17,878戸（前年同月比3.9%減）、貸家は34,598戸（前年同月比20.6%増）、分譲住宅は22,955戸（前年同月比16.5%増）であった。



出典：政府統計ポータルサイト e-Stat 国土交通省「建築着工統計 記者発表資料」

3. 建設工事の元請受注高（土木、建築、設備）

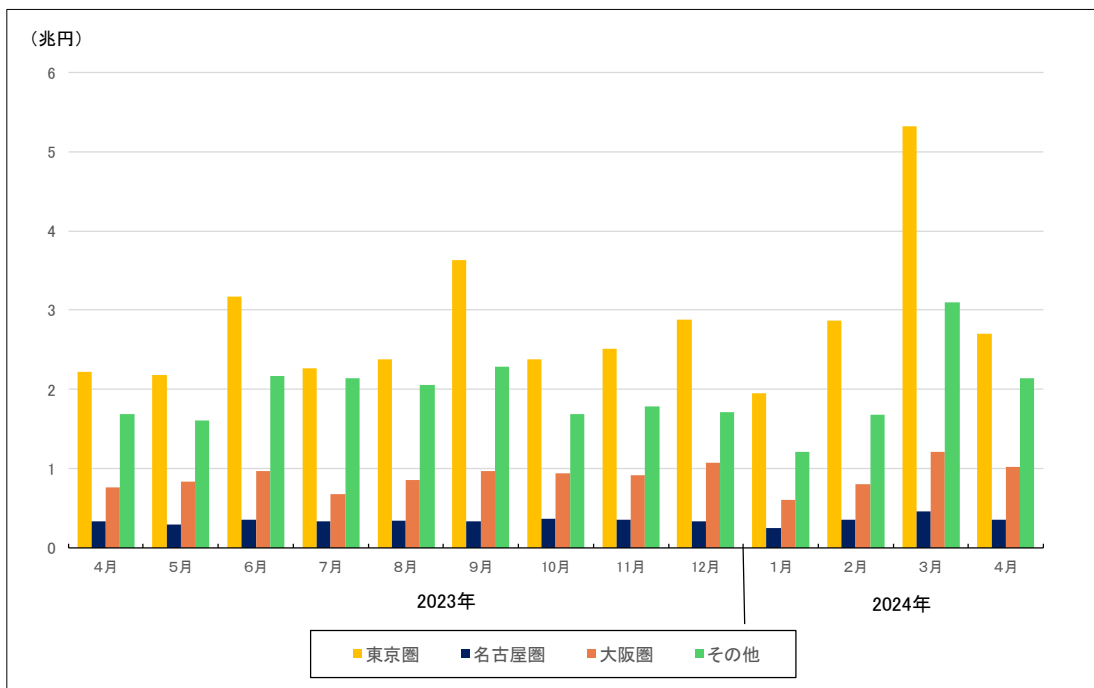
2024年4月の土木工事の元請受注高は、1兆6,480億円（前年同月比16.6%増）、建築工事・建築設備工事の元請受注高は、3兆7,671億円（前年同月比27.4%増）、機械装置等工事の元請受注高は、7,983億円（前年同月比26.5%増）であった。



出典：政府統計ポータルサイト e-Stat 国土交通省「建設工事受注動態統計 記者発表資料」

4. 建設工事の元請受注高（三大圏（東京圏、名古屋圏、大阪圏）とその他）

2024年4月の東京圏の元請受注高は2兆7,037億円（前年同月比21.8%増）、名古屋圏の元請受注高は3,519億円（前年同月比5.6%増）、大阪圏の元請受注高は1兆194億円（前年同月比34.8%増）、その他の元請受注高は2兆1,384億円（前年同月比26.3%増）であった。

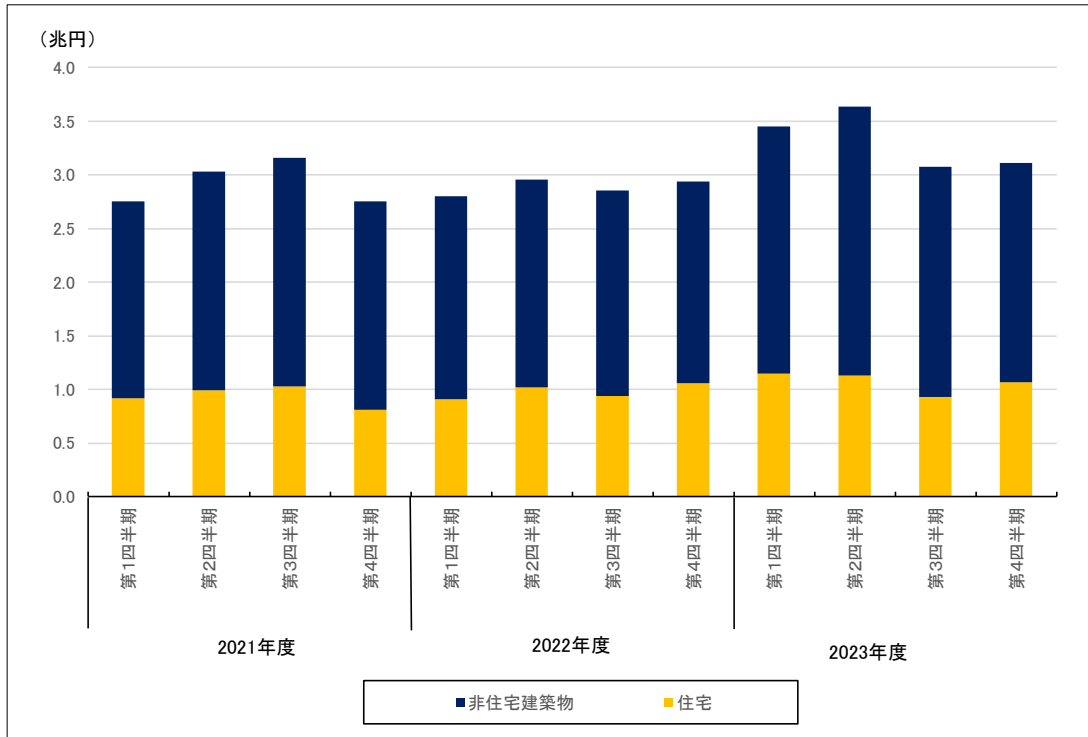


出典：政府統計ポータルサイト e-Stat 国土交通省「建設工事受注動態統計 記者発表資料」

東京圏：東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県
 名古屋圏：愛知県、岐阜県、三重県
 大阪圏：大阪府、兵庫県、京都府、奈良県

5. 建築物リフォーム・リニューアル調査（四半期単位）

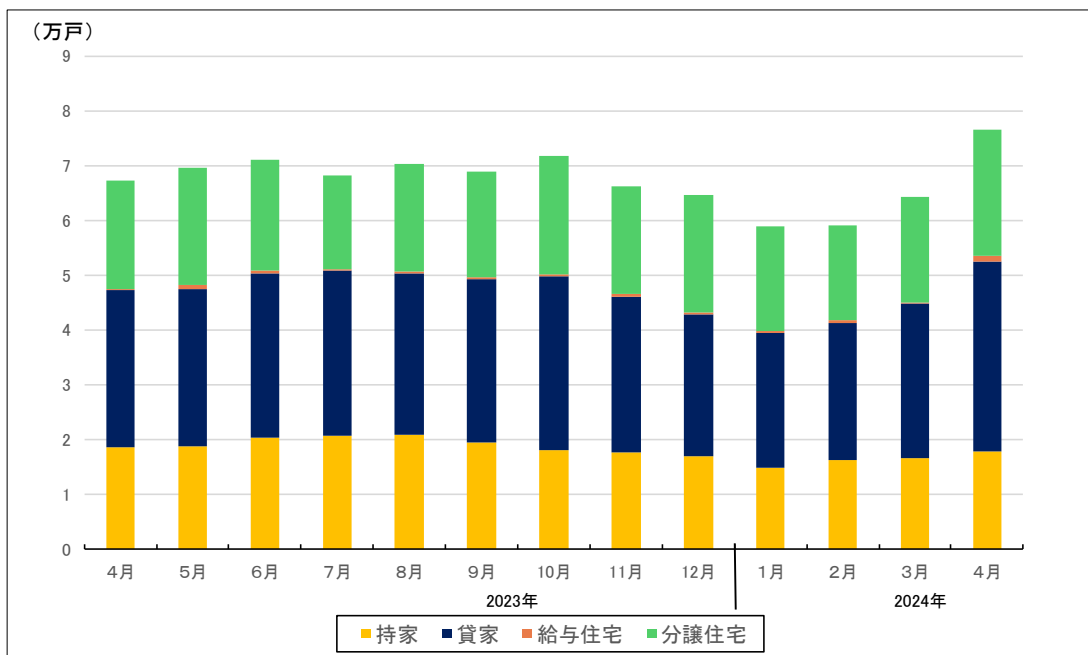
2023年度第4四半期の建築物リフォーム・リニューアル工事の受注高の合計は3兆1,155億円（前年同期比6.1%増）となった。そのうち、住宅は1兆668億円（同1.1%増）、非住宅建築物は2兆487億円（同9.0%増）であった。



出典：政府統計ポータルサイト e-Stat 国土交通省「建築物リフォーム・リニューアル調査 記者発表資料」

6. 住宅着工（持家、貸家、給与住宅、分譲住宅）

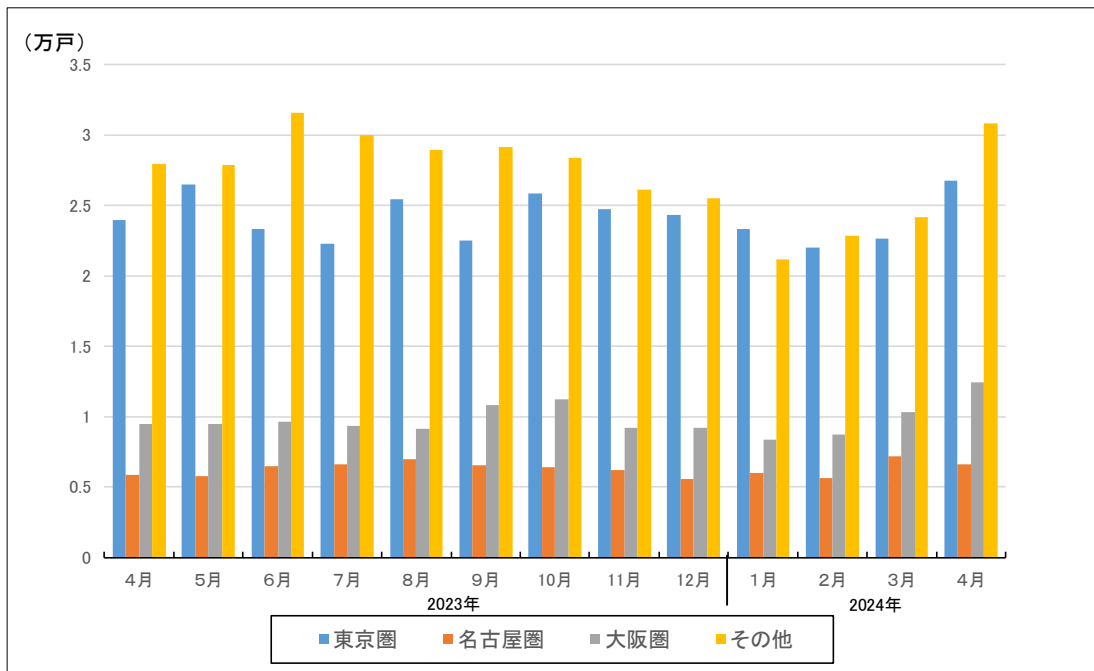
2024年4月の新設住宅着工は76,583戸（前年同月比13.9%増）となった。そのうち、持家は17,878戸（前年同月比3.9%減）、貸家は34,598戸（前年同月比20.6%増）、給与住宅は1,152戸（前年同月比331.5%増）、分譲住宅は22,955戸（前年同月比16.5%増）であった。



出典：政府統計ポータルサイト e-Stat 国土交通省「建築着工統計 記者発表資料」

7. 住宅着工（三大圏（東京圏、名古屋圏、大阪圏）とその他）

2024年4月の東京圏の新設住宅着工戸数は26,747戸（前年同月比11.7%増）、名古屋圏の新設住宅着工戸数は6,643戸（前年同月比13.8%増）、大阪圏の新設住宅着工戸数は12,392戸（前年同月比30.4%増）、その他の新設住宅着工戸数は、30,801戸（前年同月比10.1%増）であった。



出典：政府統計ポータルサイト e-Stat 国土交通省「建築着工統計 記者発表資料」

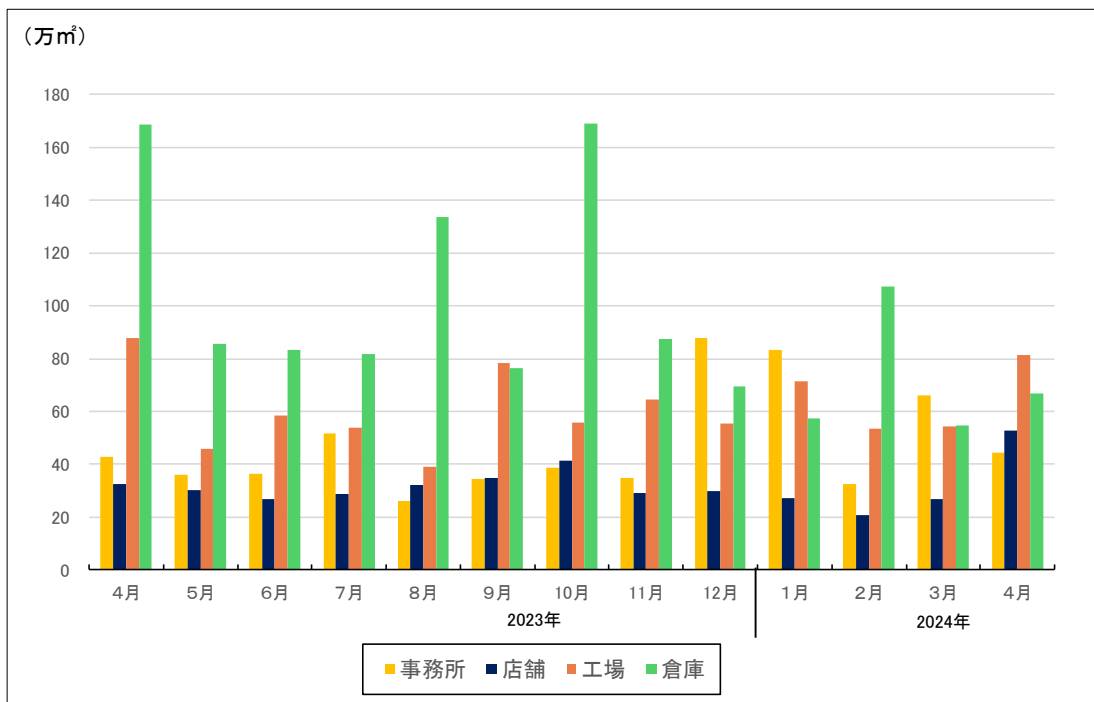
東京圏：東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県

名古屋圏：愛知県、岐阜県、三重県

大阪圏：大阪府、兵庫県、京都府、奈良県

8. 住宅着工（民間非居住建築物の床面積（事務所、店舗、工場、倉庫）

2024年4月の民間非居住建築物の床面積は356万㎡（前年同月比18.2%減）となった。そのうち、事務所の床面積は44万4千㎡（前年同月比3.4%増）、店舗の床面積は52万9千㎡（前年同月比62.2%増）、工場の床面積は81万3千㎡（前年同月比7.6%減）、倉庫の床面積は66万9千㎡（前年同月比60.3%減）であった。



出典：政府統計ポータルサイト e-Stat 国土交通省「建築着工統計 記者発表資料」

II 交通分野

1. 旅客輸送

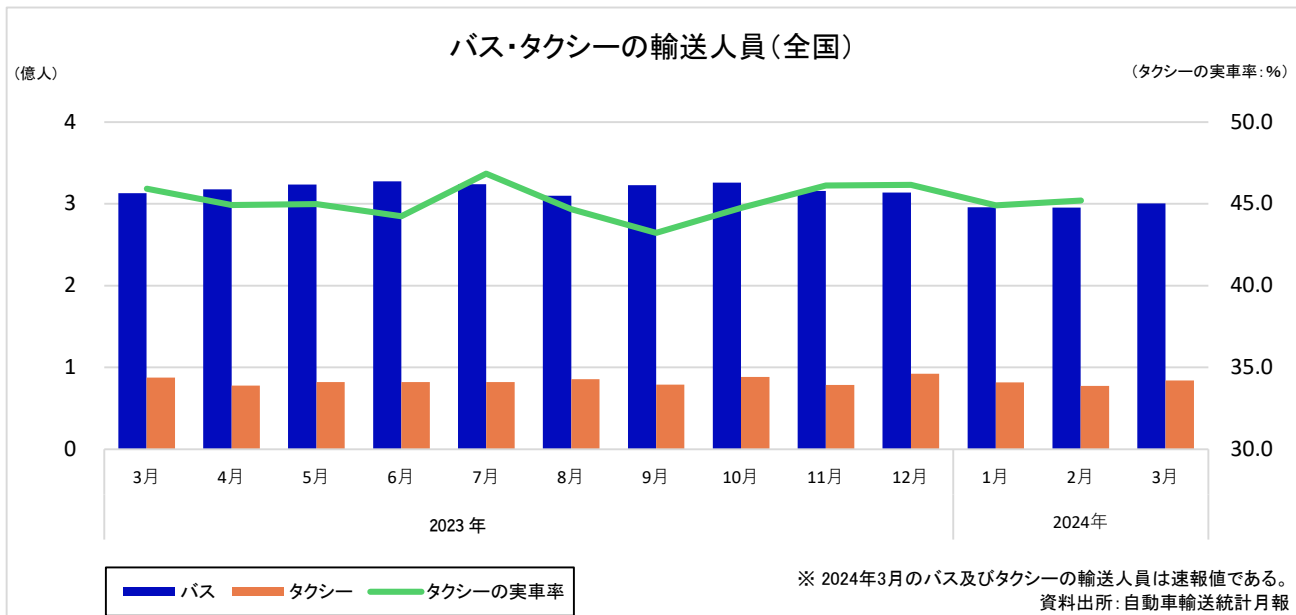
(1) バス・タクシー

2024年3月のバス^(注1)の輸送人員は、3億60万人（前年同月比4.0%減）となった。

2024年3月のタクシー^(注2)の輸送人員は、8,405万人（前年同月比4.0%減）となった。

(注1) 乗車定員11人以上の乗合バス。

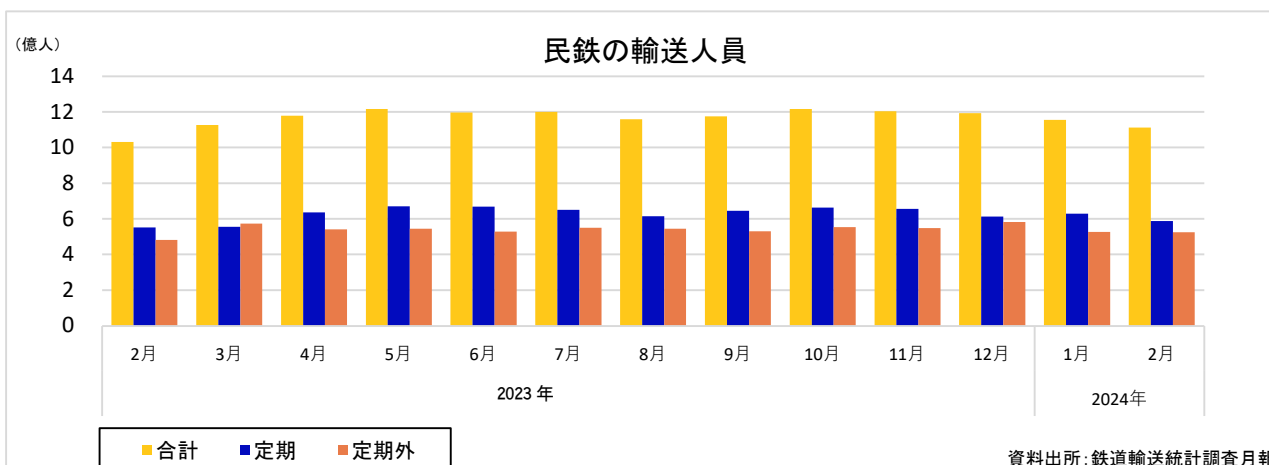
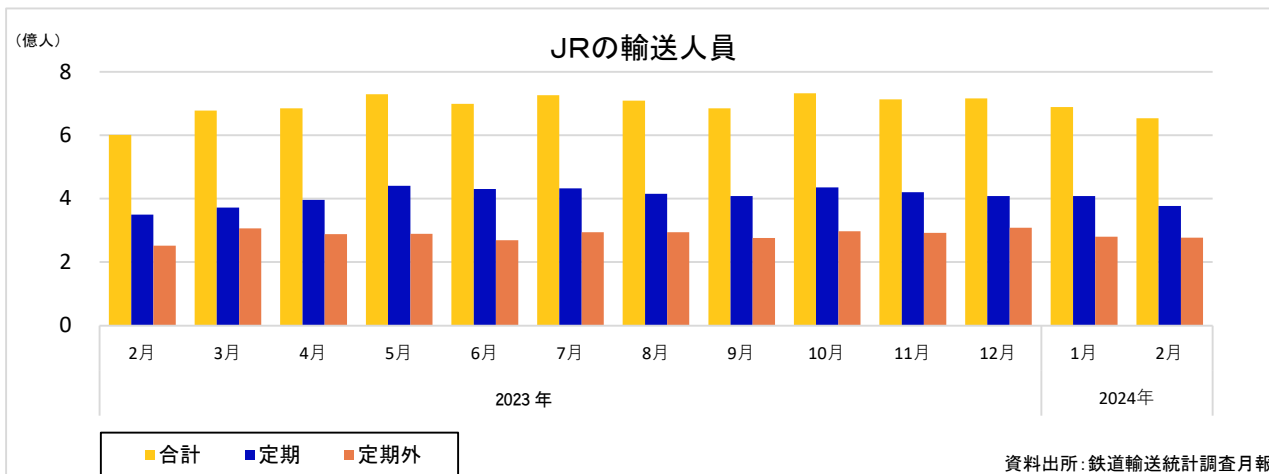
(注2) 乗車定員10人以下の営業用乗用車。



(2) 鉄道

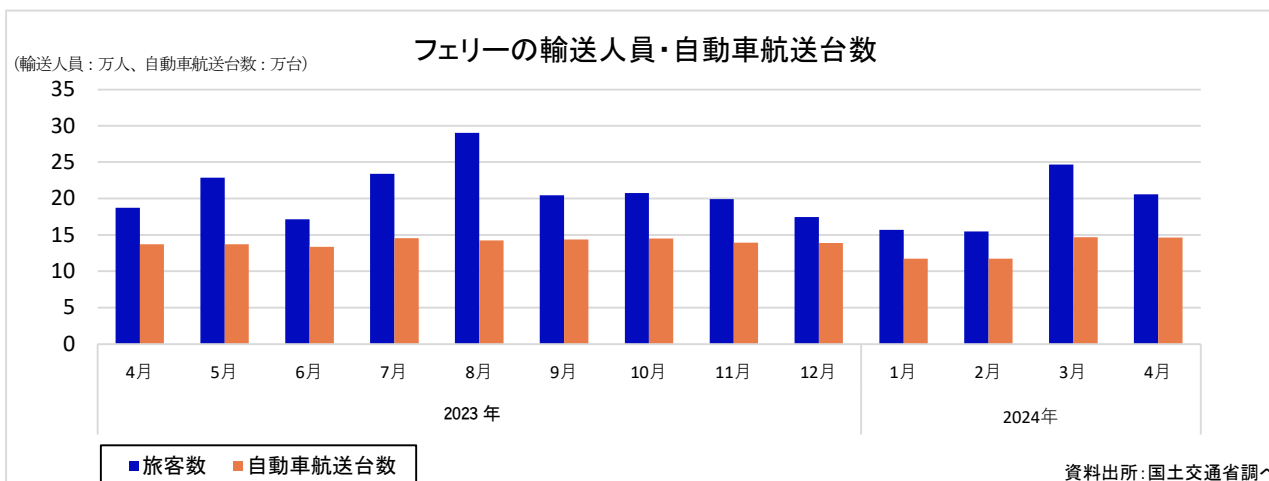
2024年2月のJRの輸送人員は、6億5,281万人（前年同月比8.7%増）となった。そのうち、定期は3億7,617万人（前年同月比7.7%増）、定期外は2億7,664万人（前年同月比10.1%増）であった。

2024年2月の民鉄の輸送人員は11億1,281万人（前年同月比7.8%増）となった。そのうち、定期は5億8,772万人（前年同月比6.6%増）、定期外は5億2,509万人（前年同月比9.2%増）であった。



(3) フェリー

2024年4月の長距離フェリーの輸送人員は21万人（前年同月比9.8%増）、自動車航送台数は15万台（前年同月比6.8%増）となった。

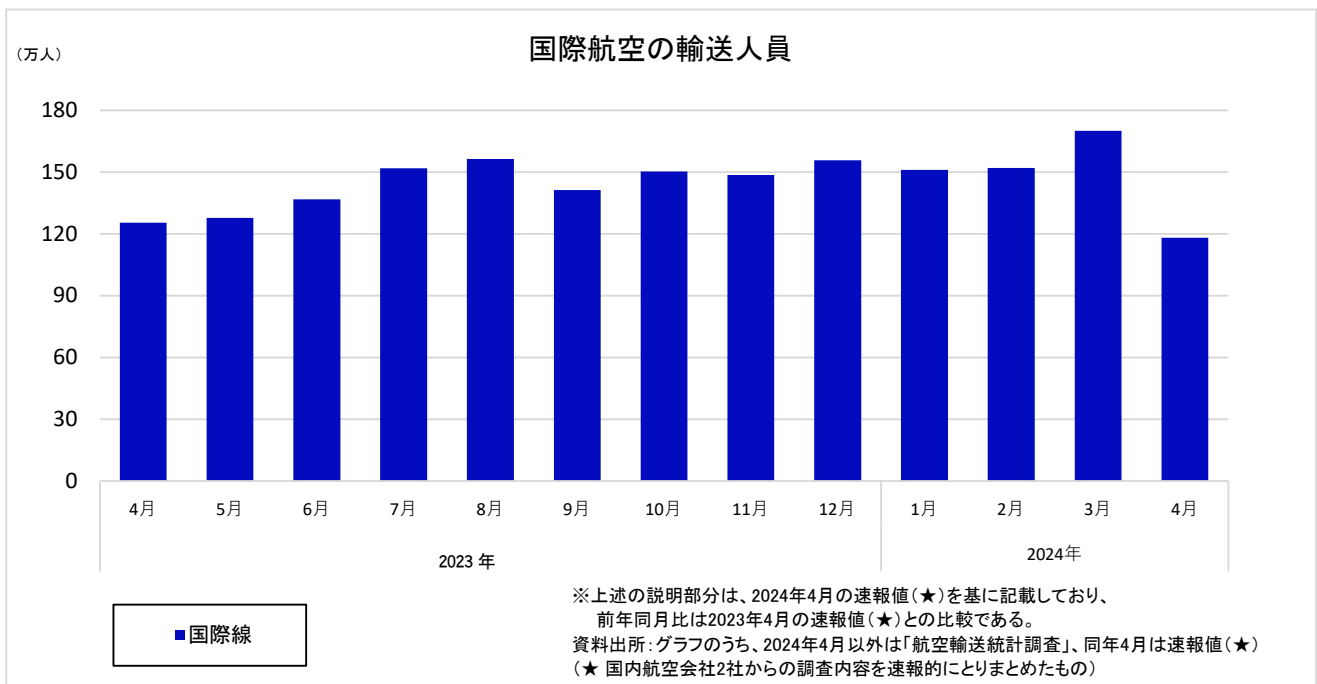
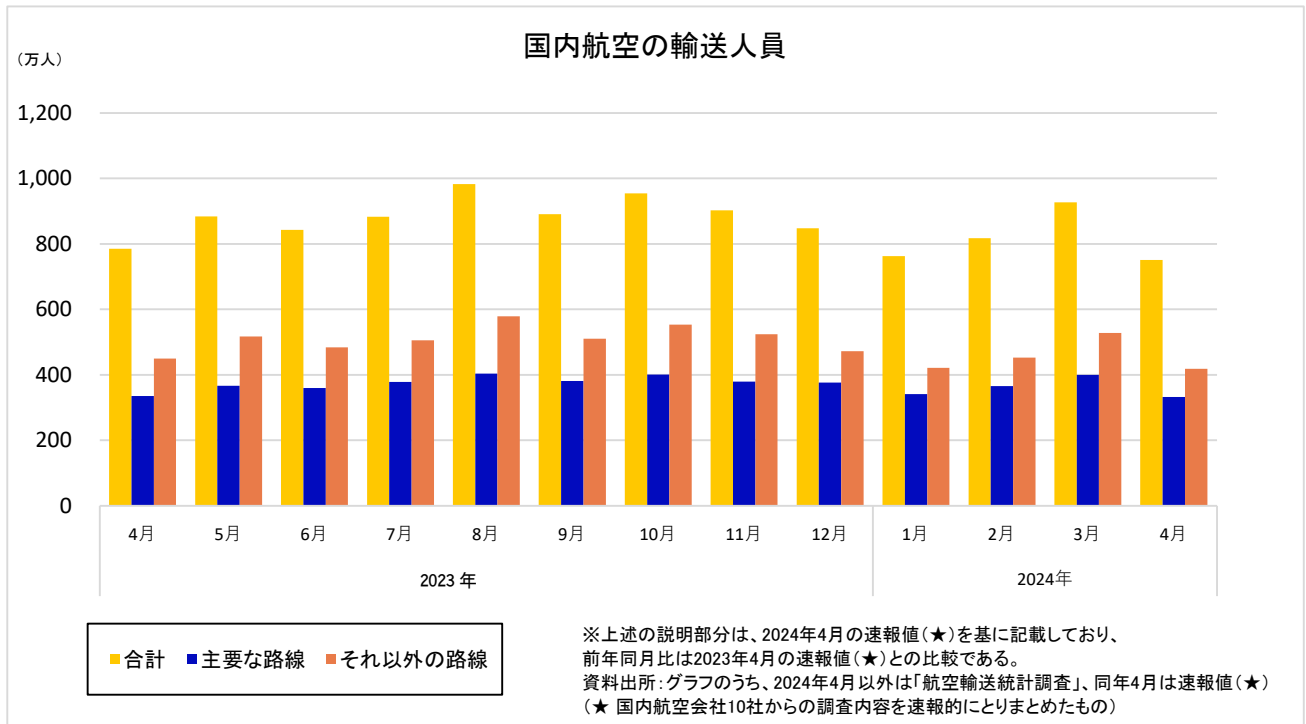


(4) 航空

2024年4月の国内線の輸送人員は、751万人（前年同月比0.3%減）となった。そのうち、主要な路線^(注5)における輸送人員は332万人（前年同月比0.9%減）、それ以外の路線における輸送人員は418万人（前年同月比0.2%増）であった。

2024年4月の国際線の輸送人員は、118万人（前年同月比14.2%増）となった。

(注5) 新千歳、東京（羽田）、東京（成田）、大阪（伊丹）、関西、福岡、沖縄（那覇）の7つの空港を相互に結ぶ路線である。



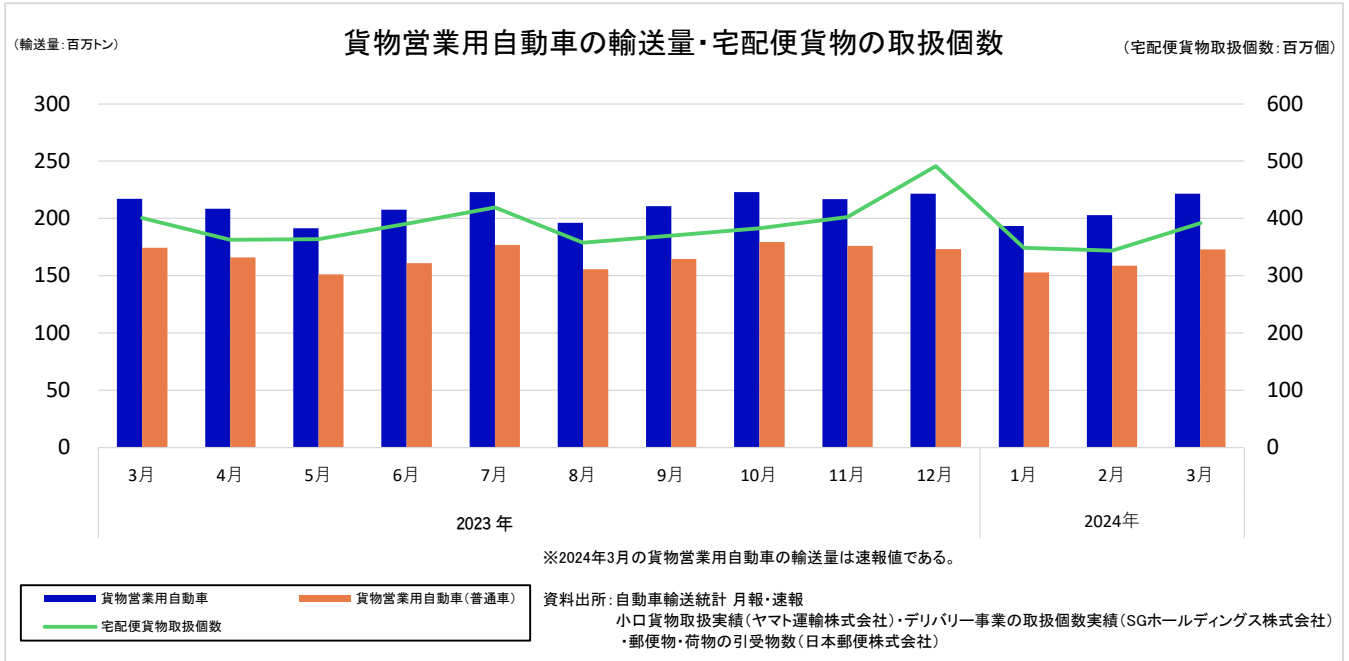
2. 貨物輸送

(1) 自動車

2024年3月の貨物営業用自動車の輸送量は、2億2,148万トン（前年同月比2.0%増）となった。そのうち、貨物営業用自動車（普通車）^(注6)は1億7,289万トン（前年同月比0.9%減）であった。

2024年3月の宅配便貨物の取扱事業者（大手3社）による宅配便貨物の取扱個数は、3億9,206万個（前年同月比2.1%減）となった。

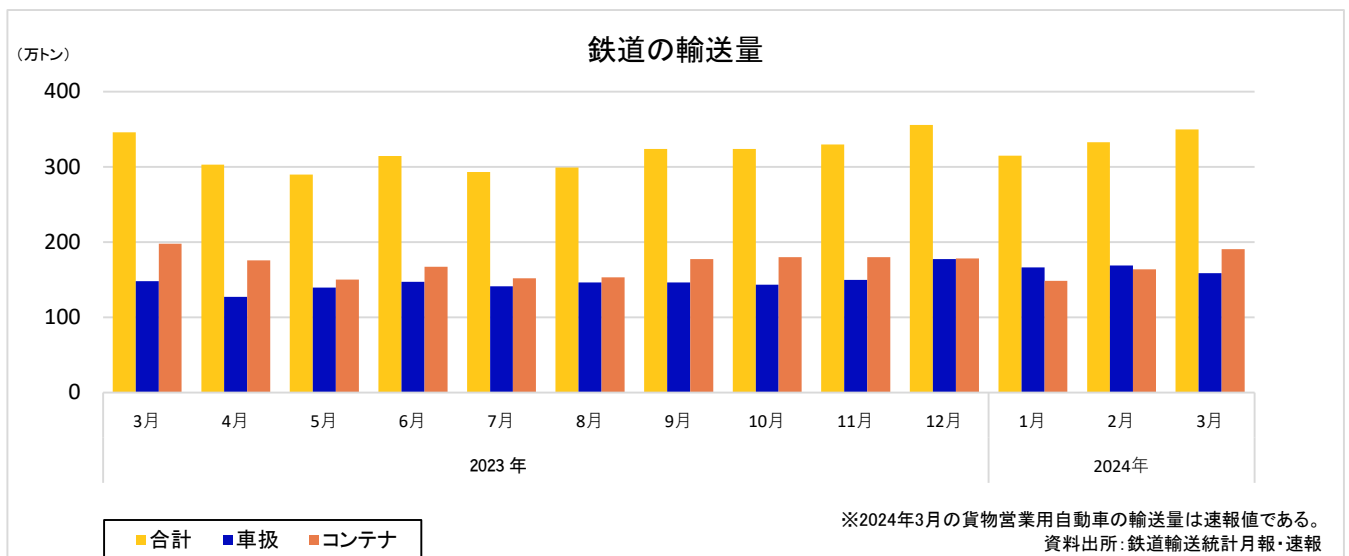
(注6) 普通自動車は、小型自動車、軽自動車、大型特殊自動車及び小型特殊自動車以外の自動車である（道路運送車両法施行規則別表第1）。5つの自動車の種別は、大きさ、構造、総排気量等の基準により分類され、総排気量の場合、小型自動車は660cc超、2,000cc以下、軽自動車は660cc以下、普通自動車は2,000cc超の区分によっておおむね分類される。



(2) 鉄道

2024年3月の鉄道の輸送量は、349万トン（前年同月比1.1%増）となった。そのうち、車扱^(注7)は159万トン（前年同月比7.3%増）、コンテナは191万トン（前年同月比3.6%減）であった。

(注7) 車扱貨物（しゃあつかいかもつ）を略して記載しており、貨車を一両単位で借り切って輸送する貨物列車のことである。

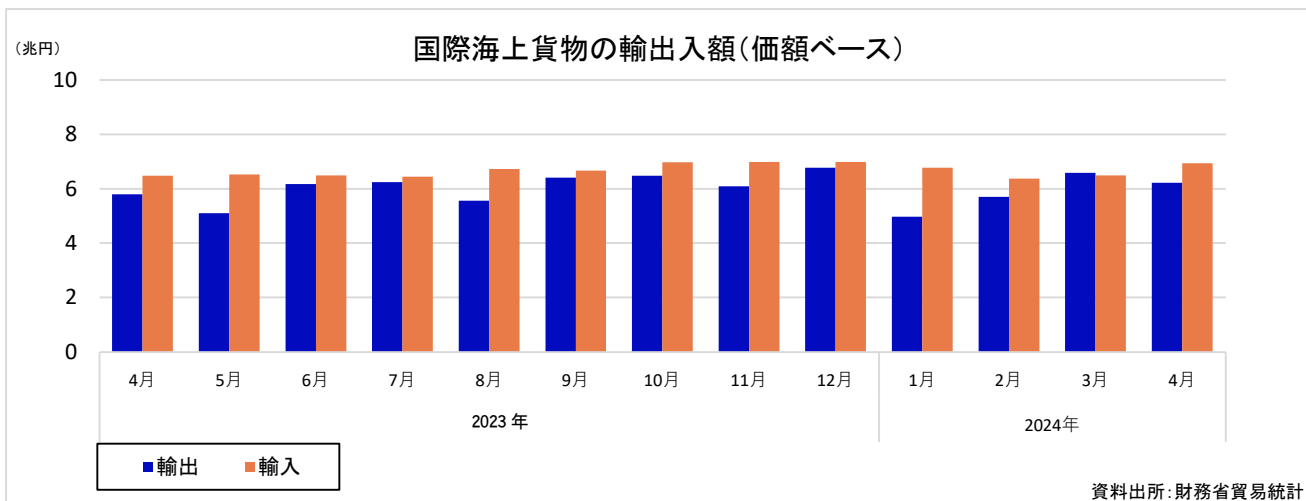
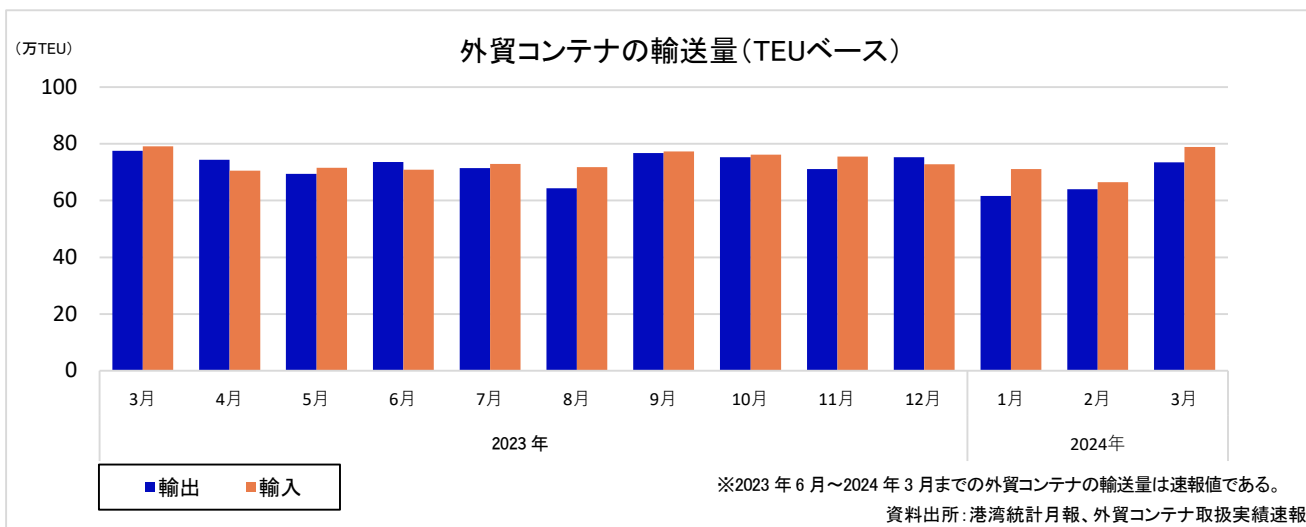
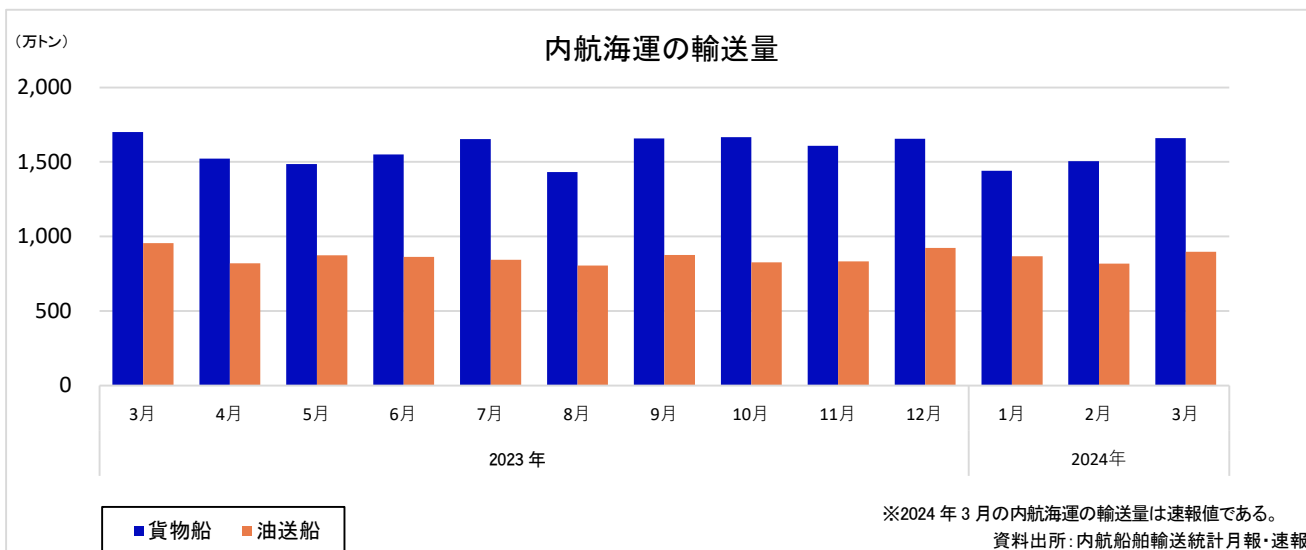


(3) 海運

2024年3月の内航海運の輸送量は、貨物船1,660万トン（前年同月比2.4%減）、油送船897万トン（前年同月比6.1%減）となった。

2024年3月の外航海運（外貿コンテナ）の輸送量は、輸出74万TEU（前年同月比0.8%減）、輸入79万TEU（前年同月比1.1%減）となった。

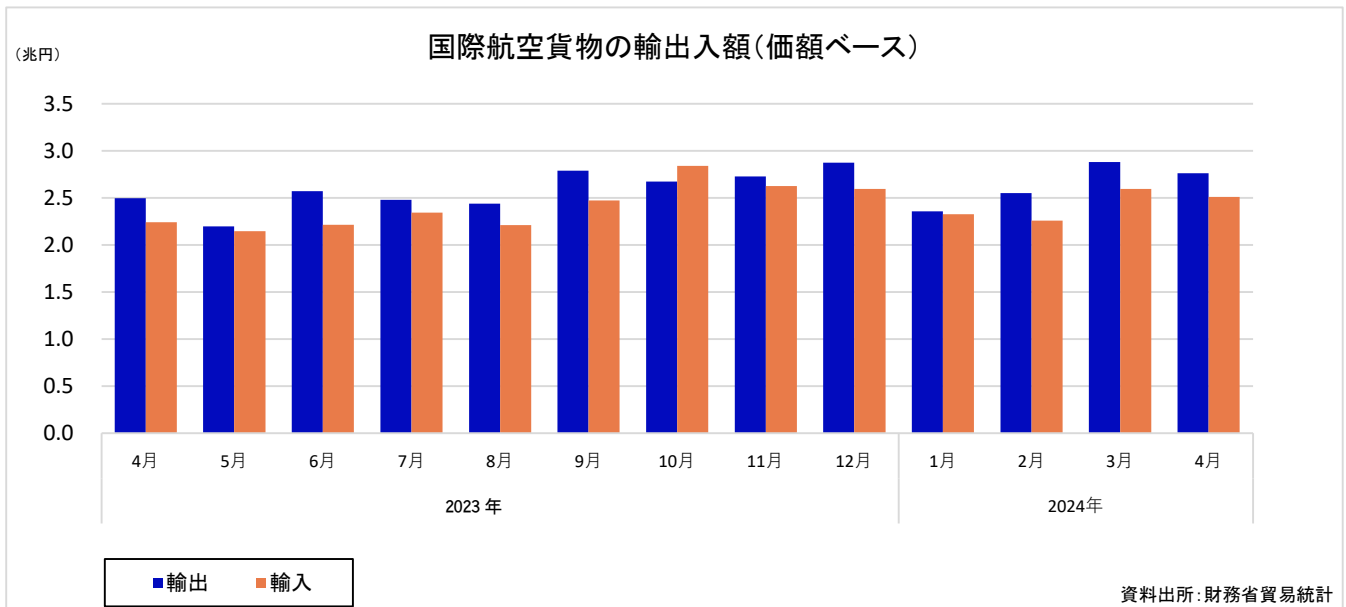
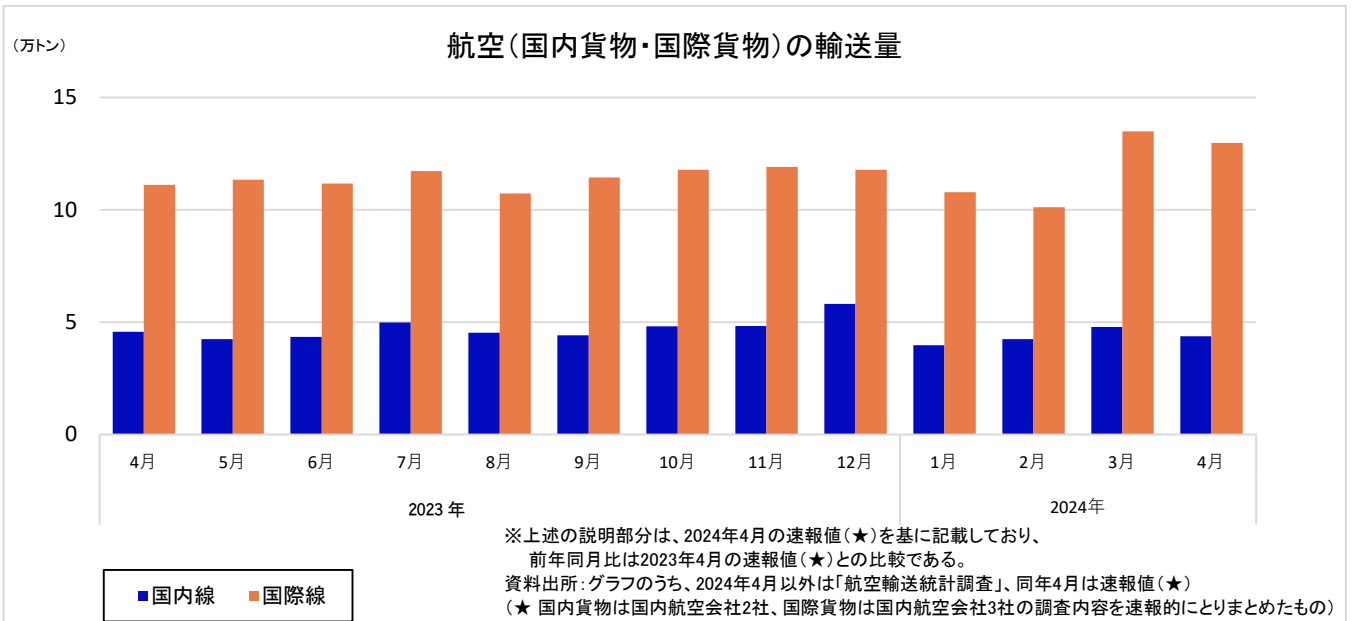
2024年4月の国際海上貨物（価額ベース）は、輸出6.2兆円（前年同月比7.3%増）、輸入6.9兆円（前年同月比7.0%増）となった。



(4) 航空

2024年4月の航空（国内貨物・国際貨物）の輸送量は、国内線4.4万トン（前年同月比2.2%減）、国際線13.0万トン（前年同月比5.7%増）となった。

2024年4月の国際航空貨物（価額ベース）は、輸出2.8兆円（前年同月比10.6%増）、輸入2.5兆円（前年同月比12.0%増）となった。

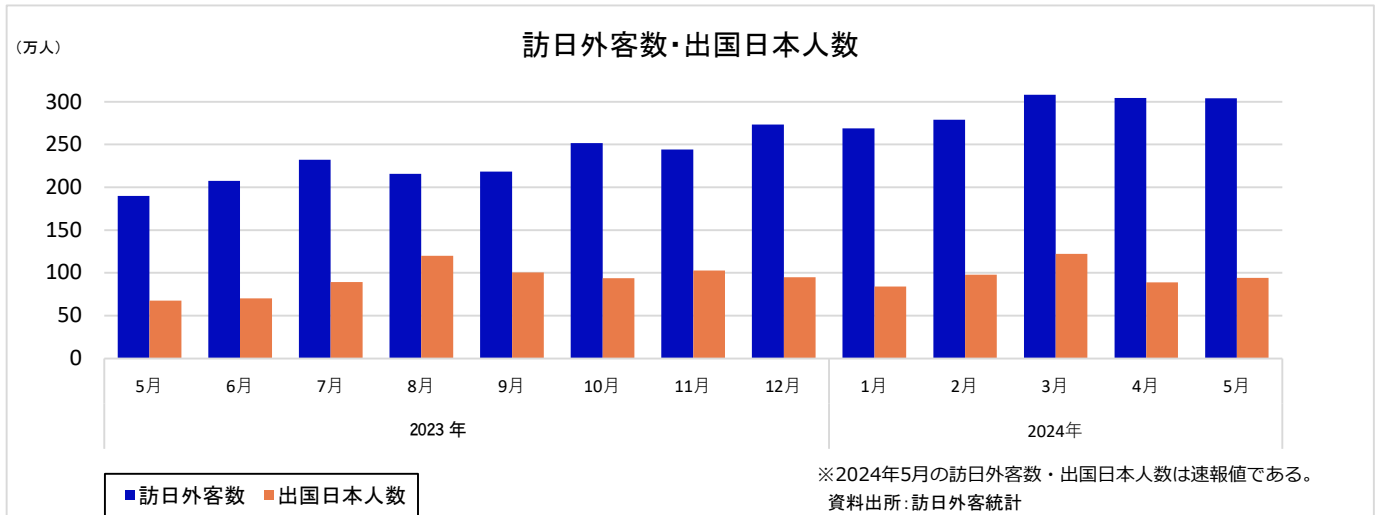


3. 観光分野

(1) 訪日外客数、出国日本人数

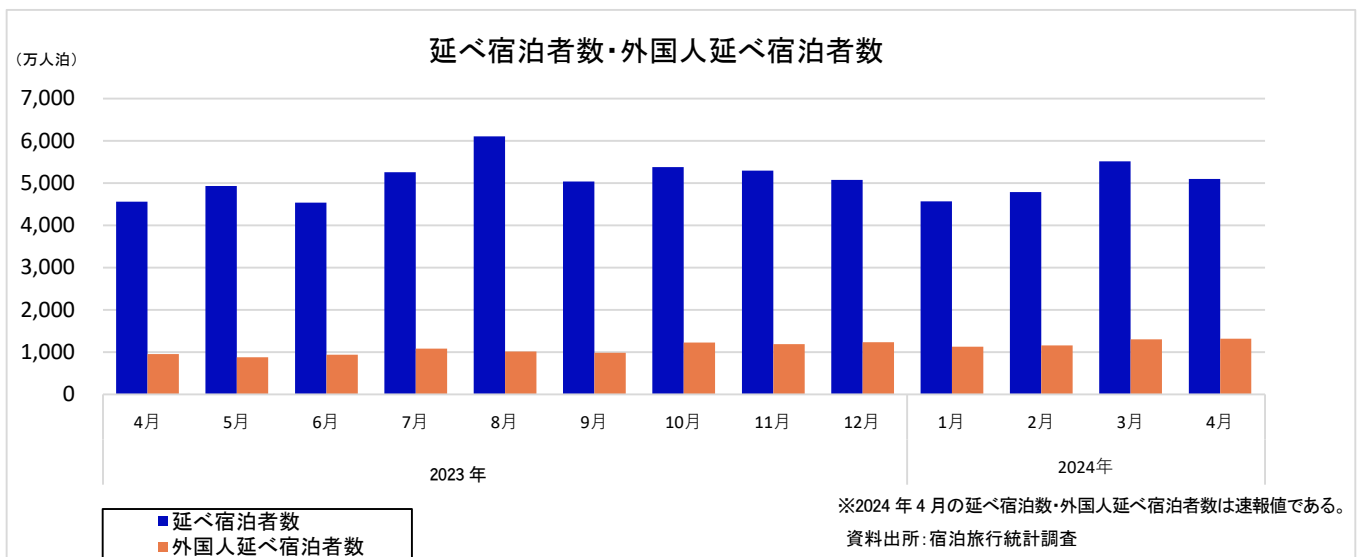
2024年5月の訪日外客数は、304万人（前年同月比60.1%増）となった。そのうち、韓国は74万人（前年同月比43.3%増）、中国は55万人（前年同月比305.5%増）、台湾は47万人（前年同月比53.6%増）、香港は22万人（前年同月比40.9%増）であった。

また、2024年5月の出国日本人数は、94万人（前年同月比39.4%増）となった（ただし、2019年同月比は34.5%減）。



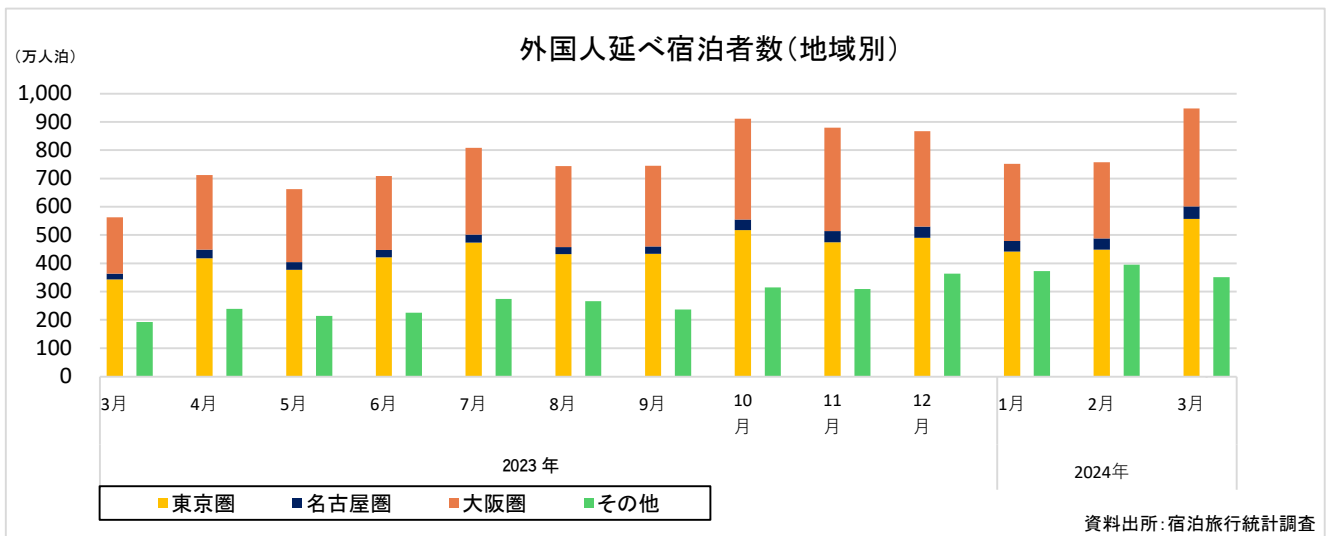
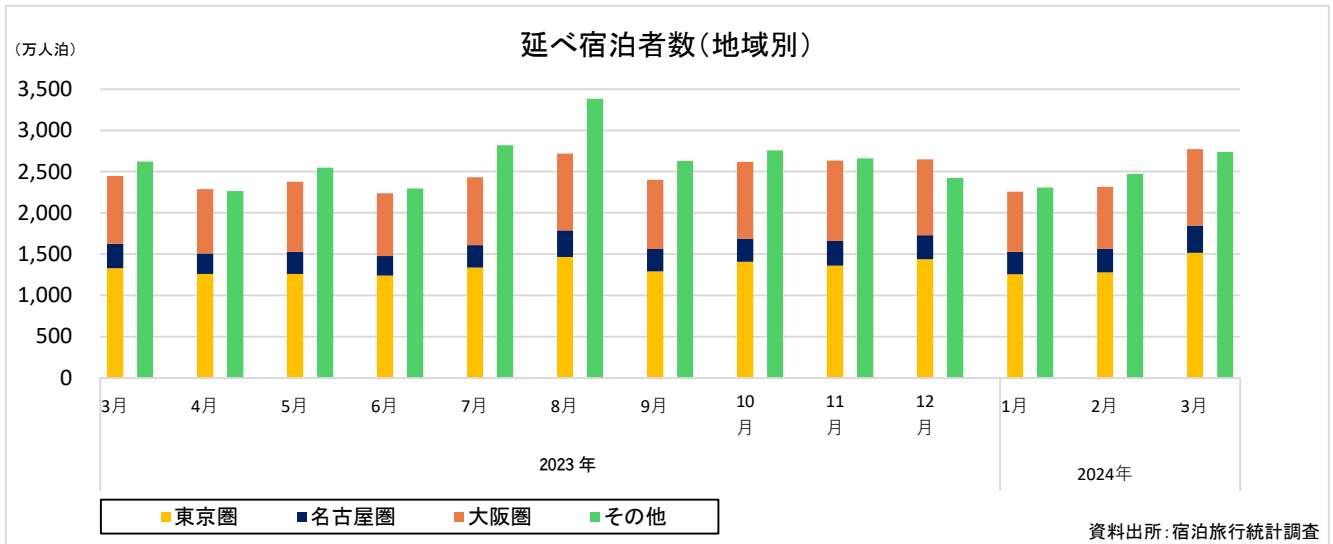
(2) 宿泊者数

2024年4月の延べ宿泊者数は、5,096万人泊（前年同月比11.9%増）となった。そのうち、外国人延べ宿泊者数は、1,315万人泊（前年同月比38.1%増）であり、その割合は25.8%であった。



2024年3月の延べ宿泊者数(5,511万人泊)のうち、東京圏は1,517万人泊(前年同月比14.1%増)、名古屋圏は328万人泊(前年同月比11.5%増)、大阪圏は930万人泊(前年同月比12.7%増)、その他は2,737万人泊(前年同月比4.5%増)であった。

2024年3月の外国人延べ宿泊者数(1,298万人泊)のうち、東京圏は557万人泊(前年同月比62.2%増)、名古屋圏は45万人泊(前年同月比123.0%増)、大阪圏は345万人泊(前年同月比73.5%増)、その他は351万人泊(前年同月比82.6%増)であった。



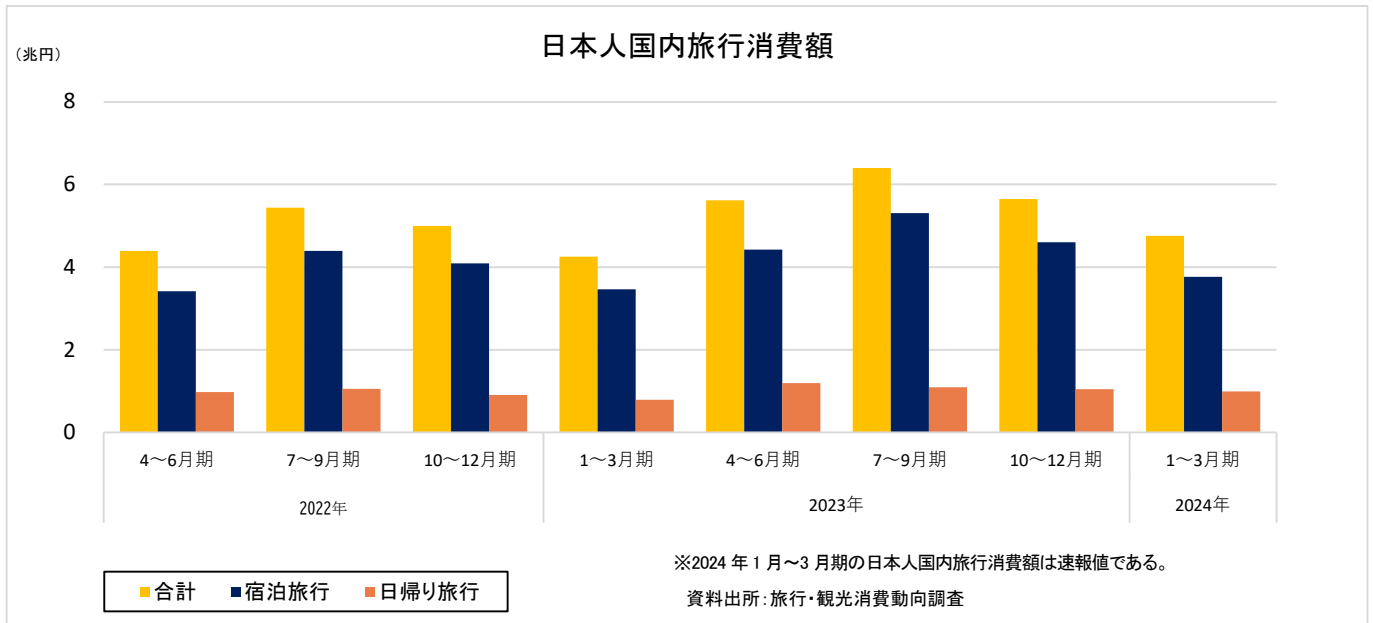
東京圏: 東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県

名古屋圏: 愛知県、岐阜県、三重県

大阪圏: 大阪府、兵庫県、京都府、奈良県

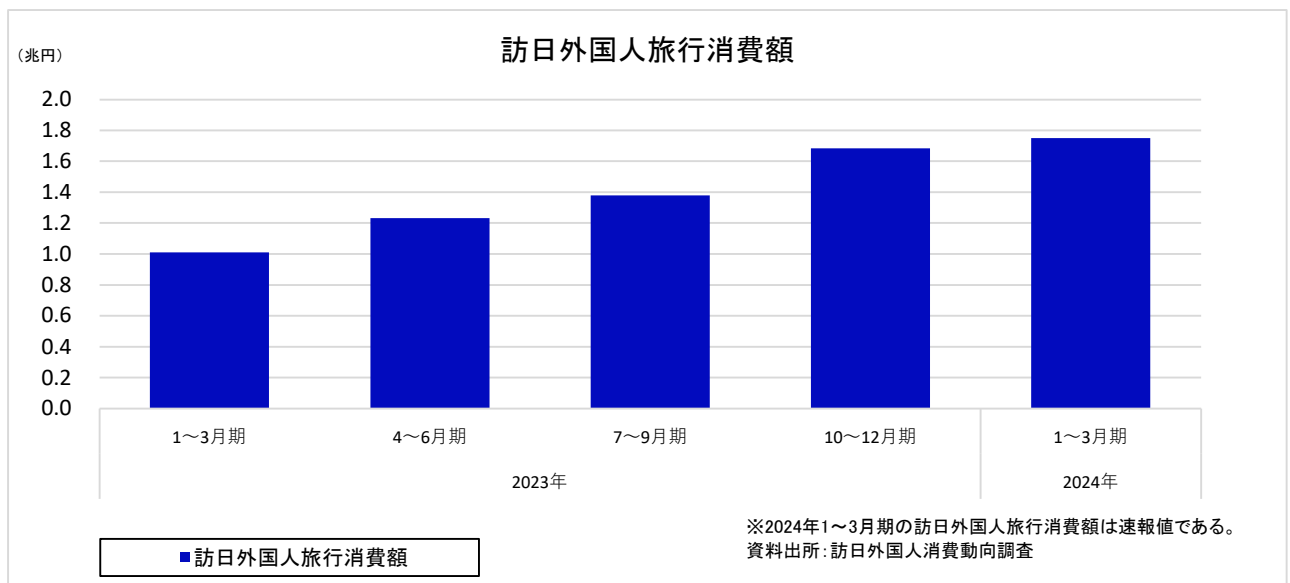
(3) 日本人国内旅行消費

2024年1～3月期の日本人国内旅行消費額は、4兆7,574億円（前年同期比11.8%増）となった。そのうち、宿泊旅行は3兆7,670億円（前年同期比8.7%増）、日帰り旅行は9,903億円（前年同期比25.2%増）であった。



(4) 訪日外国人旅行消費

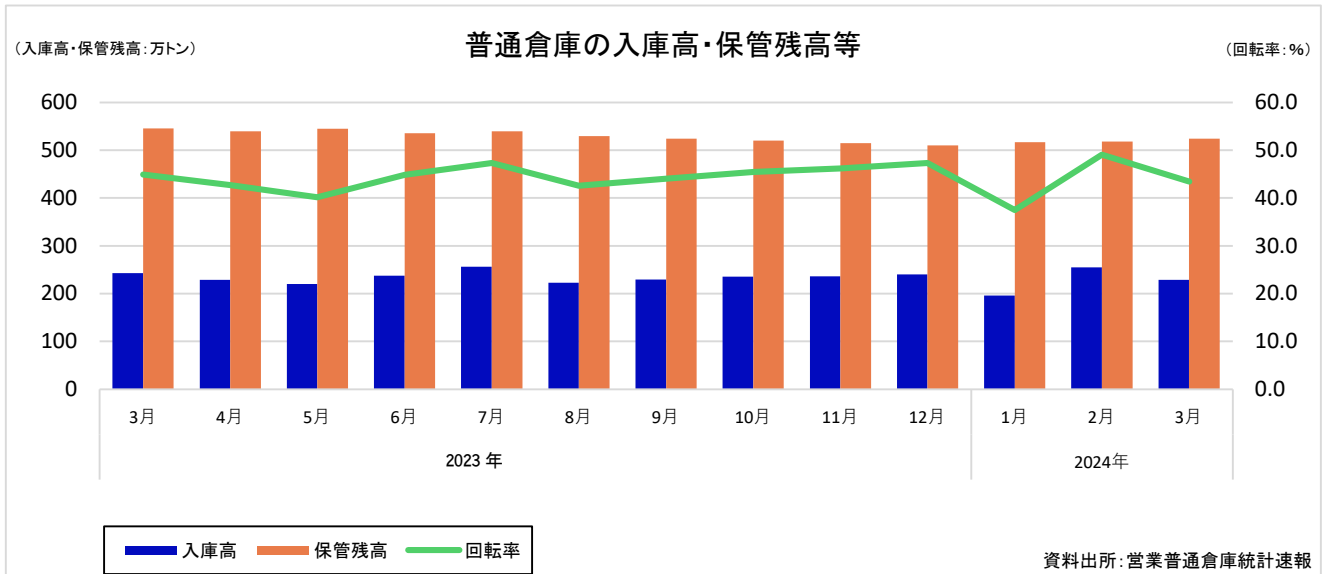
2024年1～3月期の訪日外国人旅行消費額は、1兆7,505億円（前年同期比73.3%増）となった。



4. その他

(1) 倉庫

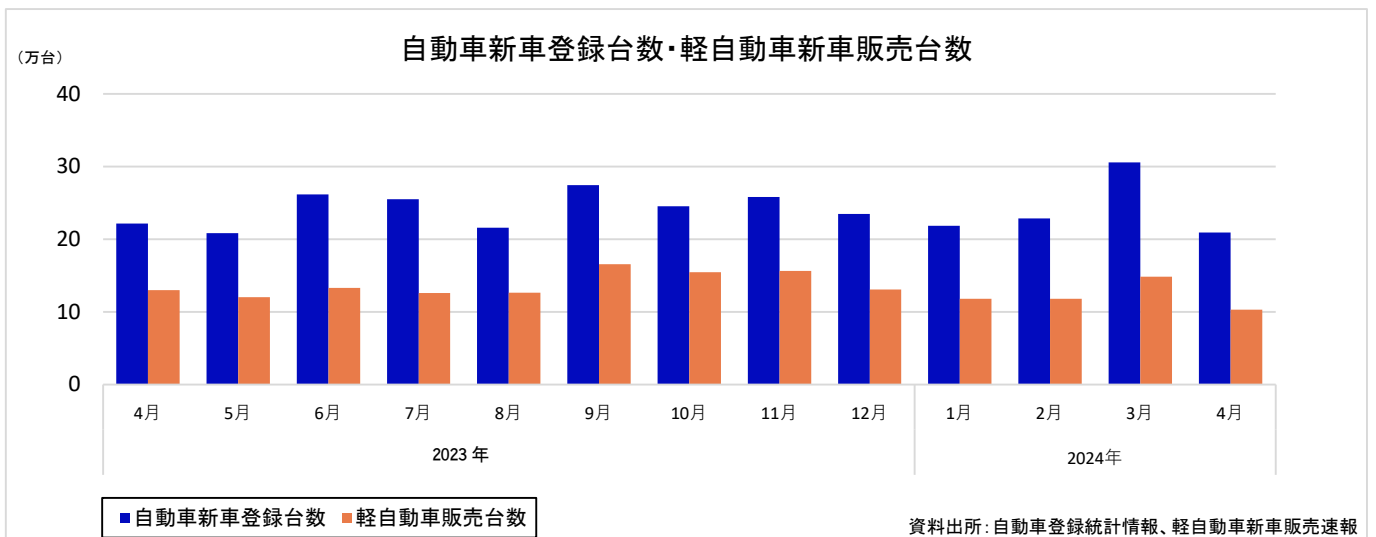
2024年3月の普通倉庫の入庫高は、229万トン（前年同月比5.8%減）、保管残高は524万トン（前年同月比4.0%減）、回転率43.4%となった。



(2) 自動車新車登録台数、軽自動車販売台数

2024年4月の自動車新車登録台数は、21万台（前年同月比5.6%減）となった。そのうち、旅客車登録台数は18.2万台（前年同月比5.9%減）、貨物車登録台数は2万台（前年同月比5.7%減）であった。

2024年4月の軽自動車販売台数は、10万台（前年同月比20.7%減）となった。

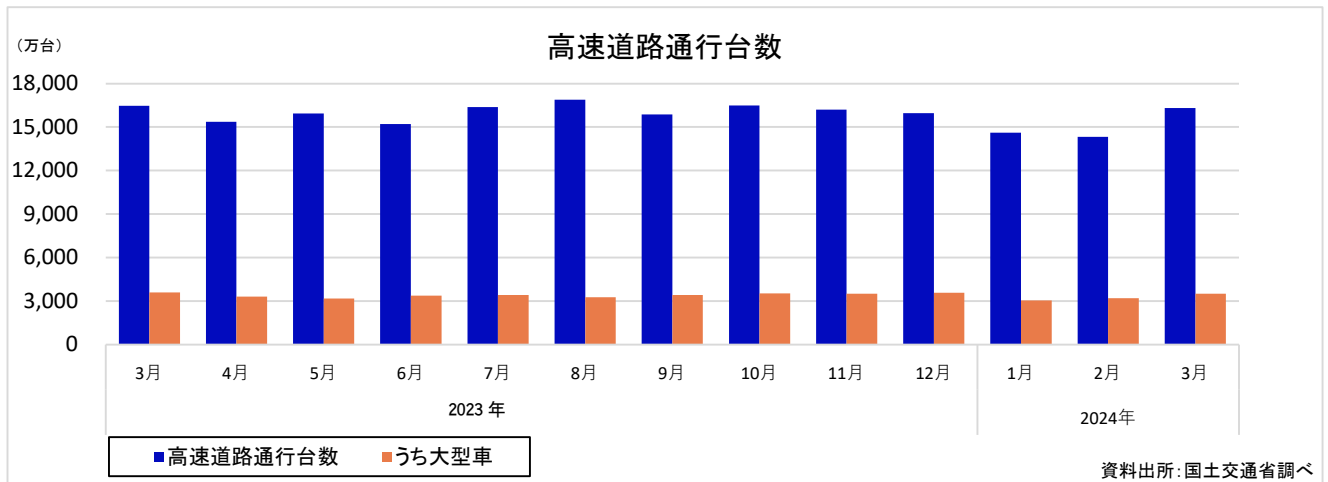


(3) 自動車保有車両数

2024年3月の自動車保有車両数は、8,257万台（前年同月比0.1%増）となった。

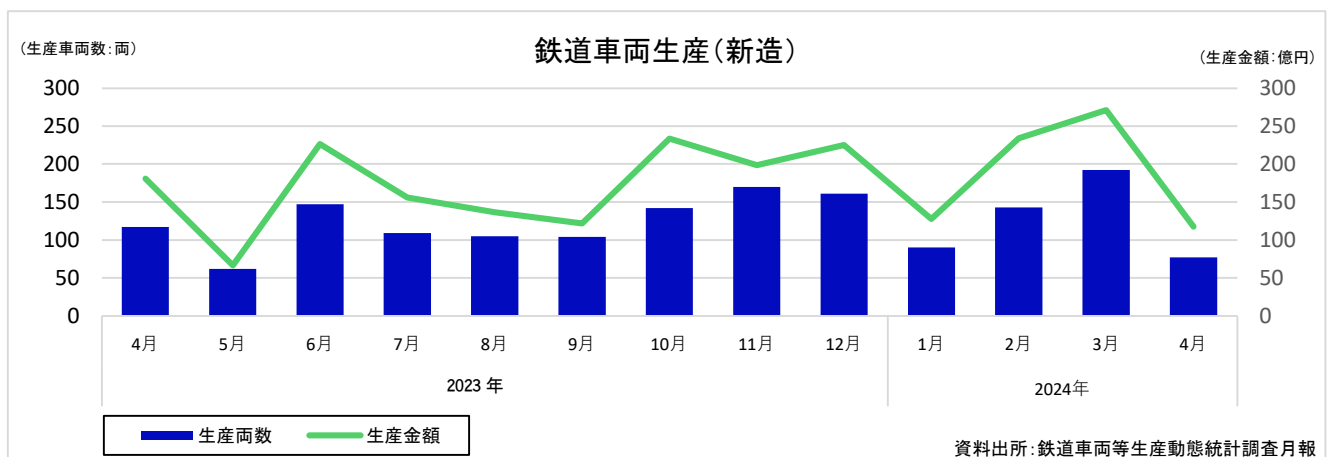
(4) 高速道路通行台数

2024年3月の高速道路通行台数は、16,318万台（前年同月比0.9%減）となった。そのうち、大型車通行台数は、3,514万台（前年同月比2.3%減）、東名高速道路通行台数は、1,346万台（前年同月比0.6%減）であった。



(5) 鉄道車両生産

2024年4月の鉄道車両（新造）の生産車両数及び生産金額は、それぞれ77両、118億円となった。



(6) 造船

2024年4月の造船（竣工）の隻数、トン数及び船価は、それぞれ22隻、737,276G/T、1,287億円となった。

※G/T…Gross Tonnage（総トン数）の略

